



赤い羽根  
福祉基金

# ボランティア全国フォーラム2017

～熱くかたりあおう! そしてステップアップ in 備後～

## 開催要綱

### 1 趣旨

現在、人口減少社会、少子高齢化を背景に、我々を取り巻く環境は大きく変容しており、生活困窮者への支援、子どもの貧困と子育て支援、一人暮らし高齢者への支援、孤立死など様々な地域課題や人が人としての尊厳を保持できない虐待などの処遇困難ケースも見受けられる状況となっています。

また、地方においては、人口減少による影響を回避すべく、生き残りをかけて都市の再生や活性化に向けて様々な取り組みが行われており、備後圏域の6市2町(広島県福山市・三原市・尾道市・府中市・世羅町・神石高原町、岡山県笠岡市・井原市)では協定を締結し、緊密な連携のもと、お互いの強みを生かすとともに弱みを補完し合うなかで、持続可能で、将来にわたって住み続けたいと思える圏域の実現に取り組んでいます。

さらに、介護保険などの社会保障制度においても、財源や人材不足などの影響もあり、「自助」「互助」の普及・定着を基底とした施策に転換しつつあり、ボランティア活動や市民活動に対する期待もこれまで以上に高まっています。

このため、今年度の「ボランティア全国フォーラム2017」では、「ボランティア活動や市民活動」のあらゆる可能性について語り合い、活動の将来展望に対する認識を深めることとしています。

初日の基調講演、シンポジウムでは、「ボランティア活動と市民活動の展望」をテーマに理解を深め、二日目の7つの分科会につなげます。

二日目の分科会は、先駆的な事例の情報発信を行うと同時に、課題の把握や解決方法などを各分科会で共有し、最後に、全体の振り返りとして、各々の分科会のまとめをコーディネーターにより発表し、ボランティア活動・市民活動に対する見識を深めます。

また、6つのフィールドワークを準備しており、伝統と歴史のある備後圏域内の市町を訪れていたどき、そこでの地域に根ざしたボランティア活動・市民活動を見学していただくこととしています。

### 2 日時

**【1日目:2017年(平成29年)11月18日(土)12:00～19:30】**

12:00	13:00	13:40	14:40	15:00	16:30	17:00	17:30	19:30
受付	開会式 開会行事	基調講演 (全体会)	休憩	シンポジウム (全体会)	分科会に 向けて (全体会)	休憩 (移動)	交流会	解散

**【2日目:2017年(平成29年)11月19日(日) 9:00～15:00】**

9:00	9:30	12:00	13:20	14:20	15:00
受付	分科会①～⑦	昼食 (メイン会場へ移動)	振り返り (全体会)	閉会式 閉会行事	解散

**3 主催** ボランティア全国フォーラム2017備後圏域実行委員会(構成団体は9ページに記載)  
「広がれボランティアの輪」連絡会議  
社会福祉法人 全国社会福祉協議会

**4 会場** メイン会場:福山ニューキャッスルホテル (広島県福山市三之丸町8-16)  
分科会会場:福山ニューキャッスルホテル (広島県福山市三之丸町8-16)  
福山市ものづくり交流館 (広島県福山市西町1-1-1エフピコRiM内)  
福山市男女共同参画センター (広島県福山市西町1-1-1エフピコRiM内)  
交流会会場:福山ニューキャッスルホテル

5 参加申込期間 2017年(平成29年)8月1日(火)～10月31日(火)

## 6 費用

参加費 5,000円(大学生以下は、500円)《フィールドワーク参加者も含む》  
交流会費 5,000円(福山ニューキャッスルホテルでの交流会への参加の場合)  
※フィールドワークは、参加費以外に別途費用(宿泊費、交流会費、昼食代等を含みます。)が必要となり、金額はコースによって異なります。それぞれの案内を参照してください。

7 定員数 600名 ※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

## 8 プログラム

■第1日目 11月18日(土)	
12:00～	■受付開始
13:00 ～13:25	■開会行事(アトラクション) やっさ踊り(三原やっさ踊り振興協議会 三原市社会福祉協議会) 車イス踊り(尾道ねたきりになら連 尾道市社会福祉協議会)
13:25 ～13:35	■開会式 ■主催者あいさつ ボランティア全国フォーラム2017備後圏域実行委員会 (福山市社会福祉協議会 会長) 委員長 橋本 哲之 「広がれボランティアの輪」連絡会議 会長 上野谷 加代子 全国社会福祉協議会 常務理事 渋谷 篤男
13:35 ～13:40	■来賓あいさつ 備後圏域連携協議会 会長(福山市長) 枝廣 直幹 様
13:40 ～14:40	■基調講演 テーマ:『ボランティア活動・市民活動の展望(総論)』 講演者:上野谷 加代子 さん 「広がれボランティアの輪」連絡会議 会長 同志社大学 社会学部 社会福祉学科 教授
休憩	
15:00 ～16:30	■シンポジウム テーマ:『ボランティア活動・市民活動の展望(各論)』 コーディネーター:原田 正樹 さん 「広がれボランティアの輪」連絡会議 副会長 日本福祉大学学長補佐 社会福祉学部 教授  事例発表者: 高田 公喜 さん<<広島県生活協同組合連合会 代表理事専務>> 辰川 和美 さん<<社会福祉法人さんよう 理事長>> 井口 陽平 さん<<NPO法人若者応援コミュニティーとりのす 代表理事>>  (基調講演・シンポジウムのポイント) 人口減少・少子高齢化が急速に進展し、今後、より多くの人の生活の中心が職場から地域に移っていくことが予想され、住民の生活基盤としての地域の重要性が一層高まり、人と人のつながりや支え合いにおいて、支援の必要な人を含め誰もが役割を持ち、それぞれの日々の生活における安心感と生きがいを得ることができる社会の構築が求められています。 こうしたなか、住民からのボランティア活動に対する期待がこれまで以上に高まっているものと考えられ、基調講演では、ボランティア活動などのあらゆる可能性について理解を深めるとともに、シンポジウムでは、具体の先駆的な実践例や社会福祉法人との連携によるボランティア活動・市民活動が果たす役割を考えます。

16:30 ～17:00	<b>■分科会に向けて(分科会の紹介)</b> コーディネーター:大橋 千晶 さん<<広島県社会福祉協議会>> 唐川 希代美 さん<<福山市社会福祉協議会>> 登壇者:各分科会のコーディネーター(代表者)
休 憩・移 動	
17:30 ～19:30	<b>■交流会</b> <b>■開会あいさつ</b> ボランティア全国フォーラム2017備後圏域実行委員会 (笠岡市社会福祉協議会 会長) 副委員長 二階堂 昇司 (アトラクション) 二上りおどり(福山市古典芸能保存会 福山市社会福祉協議会) せらまち音頭、ふるさと音頭(せら町・歌と踊りを愛する会 世羅町社会福祉協議会) 子どもによる和太鼓演奏(十五鼓乃会 府中市社会福祉協議会)

## ■第2日目 11月19日(日)

### ■分科会

会場等の都合により、分科会ごとにご参加いただける人数の制限がありますので、申込書には必ず、希望の分科会をご記入ください。申し込み状況によっては、第二希望もしくは第三希望の分科会等に振り分けさせていただく場合があることをあらかじめご了承ください。なお、第一希望ではない分科会等に入らせていただく場合は、開催1週間前までにご通知します。

9:30 ～12:00	<b>第1分科会</b> <b>申込みNo.1 定員:100名</b> <b>テーマ:『再発見!進化するサロン』</b> <b>サブテーマ:ふれあい いきいきサロンがもたらすもの</b> コーディネーター:手島 洋 さん<<県立広島大学 保健福祉学部 講師>> 事例発表者:河岡 定子 さん<<めだかの学校 代表世話人>> 本村 昌文 さん<<介護ほっとステーション すまいる 代表>> 青山 奈保美 さん<<岩沼市社会福祉協議会 地域福祉課 生活困窮者自立支援担当主任>> ト部 善行 さん<<筑後市社会福祉協議会 地域福祉課 係長>> <b>(この分科会のポイント)</b> サロン活動が取りざたされて約20年が経過しますが、現在では、地域へ浸透し関係機関・団体などの連携によって様々な形で実施されています。 その最終目標としては、地域での人と人の「絆」の強化や支え合いの推進となりますが、この分科会では、先駆的な4つの事例発表を通じて、サロンの在り方や将来展望を考えます。
	<b>第2分科会</b> <b>申込みNo.2 定員:100名</b> <b>テーマ:『認知症のある人にやさしい地域づくり』</b> コーディネーター:中司 登志美 さん<<福山平成大学 福祉健康学部 福祉学科 教授>> 事例発表者:中嶋 裕子 さん<<平大認知症カフェ連絡協議会 事務局長>> 木村 薫 さん<<大牟田市認知症ライフサポート研究会 委員>> 杉原 玲子 さん<<NPO法人認知症フレンドシップクラブ 中国ブロック 委員>> <b>(この分科会のポイント)</b> 将来、65歳以上の5人に1人が認知症を患うとされており、国においては新オレンジプランを発表し、官民をあげての様々な対策の強化が図られています。 この分科会では、先駆的な事例発表での取り組みを理解し、我が事として「認知症高齢者等にやさしい地域づくり」を進めることの意義、また、ボランティア活動・市民活動でできる地域貢献について考えます。

9:30  
～12:00

### 第3分科会

申込みNo.3 定員:80名

#### テーマ:『災害ボランティア活動』

##### サブテーマ:東日本大震災から学ぶ

コーディネーター:桑原 英文 さん<<FEEL Do 代表>>

事例発表者:小菅 寿美 さん<<岩沼市社会福祉協議会 総務課係長>>

上野 武利 さん<<西宮市社会福祉協議会 共生のまちづくり課 課長>>

長野 孝弘 さん<<高知県社会福祉協議会 福祉人材兼

ボランティアNPOセンター 所長>>

#### (この分科会のポイント)

今では、災害からの復旧・支援において、ボランティアによる活動は欠かせないものとなっています。

この分科会では、発生から20年を経過した阪神淡路大震災、6年経過した東日本大震災での復興状況、また、南海トラフによる大地震が想定される地域での災害に備えてのボランティア・市民活動について学びます。

### 第4分科会

申込みNo.4 定員:50名

#### テーマ:『トライ!“協働”による地域づくり』

##### サブテーマ:多様なつながりで地域課題の解決に挑戦

コーディネーター:笠木 弘二 さん<<福山市まちづくりサポートセンター

センター長>>

事例発表者:柏原 広雄 さん<<因島白滝公園保勝会 代表>>

丸山 孝志 さん<<特定非営利活動法人グリーンラインを愛する会 理事長>>

土肥 徳之 さん<<堂々川ホテル同好会 事務局長>>

鳴本 浩二 さん<<特定非営利活動法人かさおか島づくり海社 理事長>>

#### (この分科会のポイント)

近年の地域社会を取り巻く環境は大きく変動しており、住民ニーズの多様化・高度化により様々な課題に直面しています。こうした課題解決には、住民と行政、さらに地域の多様な主体が互いに良きパートナーとして連携し、それぞれの責任や役割分担のもと、住民が主体となったまちづくりを進める必要があります。

この分科会では、住民一人ひとり、自治会・町内会、ボランティア・NPO、企業、行政などそれぞれの役割を踏まえた協働のまちづくりについて考えます。

### 第5分科会

申込みNo.5 定員:50名

#### テーマ:『地域とボランティアが支える子育て』

コーディネーター:八重樫 牧子 さん<<福山市立大学 名誉教授>>

事例発表者:小澤 蓉子 さん<<布絵本手づくりボランティア委員会>>

岸本 理香 さん<<なぎおもちゃの図書館ひよこ>>

宇野 均恵 さん<<認定NPO法人ハーモニーネット未来 理事長>>

朝川 修子 さん<<福山おもちゃ図書館 代表>>

#### (この分科会のポイント)

おもちゃ図書館は、障がいのある子どもたちに「おもちゃのすばらしさと遊びの楽しさ」との願いから始まったボランティア活動です。現在では、地域の子育ての拠点としても大きな役割を果たしています。

この分科会では、おもちゃ図書館や地域で取り組まれている様々な子育て支援活動を学び、今後の活動に活かします。

### 第6分科会

申込みNo.6 定員:100名

#### テーマ:『若いチカラが地域を変える!』

##### これからのボランティア活動の可能性を語り合う!

##### サブテーマ:会って 話して つながろう!!ボランティア交流会inびんご

コーディネーター:渡部 朋子 さん

<<特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima 代表>>

ファシリテーター:高田 和美 さん<<広島県ユニセフ協会 事務局長>>

藤原 久礼 さん<<トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校

介護福祉科 専任教員>>

<p>9:30 ～12:00</p>	<p>事例発表者：梅井 真由美 さん&lt;龍谷大学トワイライトホーム&gt; 恒松 睦美 さん&lt;特定非営利活動法人あめんど 理事長&gt; 井ノ口 浩士 さん&lt;大津市社会福祉協議会 地域支援グループリーダー&gt; 宇都宮 眞子 さん&lt;県立広島大学 ボランティア部&gt; 高橋 佳夏 さん&lt; // &gt; 今村 真子 さん&lt; // &gt; 大前 仁美 さん&lt;広島市基町地域包括支援センター 主任介護支援専門員&gt;</p> <p><b>(この分科会のポイント)</b> この分科会では、多世代のボランティア活動者が集い、子どもの居場所づくりや高齢者の見守り活動などの実践例の発表を通じて、地域づくりやボランティア活動の在り方を考えます。 特に、人口減少や少子高齢化の急速な進展により、我々を取り巻く環境は大きく変容しており、若人が振り向き、若いチカラを結集することは不可欠なものと考えられ、この視点での意見交換も行います。</p> <p><b>第7分科会</b> <span style="float: right;"><b>申込みNo.7 定員:80名</b></span> <b>テーマ：『ボランティア活動を文化として根づかせる ～持続可能な社会を実現するために～』</b> コーディネーター：&lt;〔広がれボランティアの輪〕連絡会議 提言プロジェクトチーム&gt; 事例発表者：羽田 富美江 さん&lt;鞆の浦・さくらホーム 施設長&gt; 松原 裕樹 さん&lt;特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター 事務局長&gt; 調整中</p> <p><b>(この分科会のポイント)</b> 地域の課題に対して、すべての住民が主体的にかかわらなければならない時代となり、住民からボランティア活動・市民活動に対する期待が高まっています。 また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックという大イベントの開催も予定されており、ボランティア活動に注目が集まることも予想されます。 このため、この分科会ではボランティア活動の「継続性」に視点をあて、「文化」として根づかせるには何が求められているか議論します。</p>
<p>休 憩・移 動</p>	
<p>13:20 ～14:20</p>	<p><b>■分科会共有</b> <b>テーマ：『フォーラムの振り返り』</b> コーディネーター：山崎 美貴子 さん 〔広がれボランティアの輪〕連絡会議 顧問 神奈川県立保健福祉大学 顧問・名誉教授</p> <p><b>(この分科会のポイント)</b> 2日間を通して実施した全国フォーラム。このフォーラムでの各分科会の狙いを参加者と企画者がともに振り返り、フォーラムで学んだことを総括します。</p>
<p>14:20 ～15:00</p>	<p><b>■閉会行事(アトラクション)</b> 備中神楽 演目：須佐之男命の大蛇退治 (備中神楽伝承研究会 井原市社会福祉協議会)</p> <p><b>■閉会あいさつ</b> ボランティア全国フォーラム2017備後圏域実行委員会 (尾道市社会福祉協議会 会長) 副委員長 加納 彰</p> <p><b>■次年度へのバトンタッチ</b> 軽井沢町社会福祉協議会</p>

## 9 フィールドワーク

フィールドワークは、福山会場(メイン会場)とは別に伝統と歴史のある備後圏域内の市町を訪れ、そこで活発に行われているボランティア活動・市民活動を実際に見ていただき、地域への浸透度を肌で感じていただくよう準備したものです。

- ※1 観光的な要素も若干取り入れ、楽しいひとときを過ごせるよう企画しておりますので、積極的なご参加をお願いします。
- ※2 企画ごとに日程や個人負担金が異なっておりますので、ご確認のうえお申込みください。
- ※3 定員は、当該フィールドワークの募集定員を表しています。最少催行人数は、お示した人数以上の参加者がいないと当該フィールドワークは中止となります。

■申込みNo.8 企画：井原市社会福祉協議会・岡山県社会福祉協議会

居場所づくりに「ロン」地域を繋げるボランティア活動の取り組み  
～日本三大星名所「美星」での星空探訪と  
近代彫刻界の巨匠・平櫛田中の作品堪能～



【定員】 30名<<最少催行人数 20名>>  
【参加負担金】 17,670円(宿泊費、交流会費、昼食代、入館料等)  
※宿泊は、二人部屋

【行程】(岡山県井原市内等)

11/18(土)

福山市発= =美星天文台(星空探訪)= =宿泊先「矢掛屋」着・交流会  
(17:30) (18:30~19:30) (20:00~)

11/19(日)

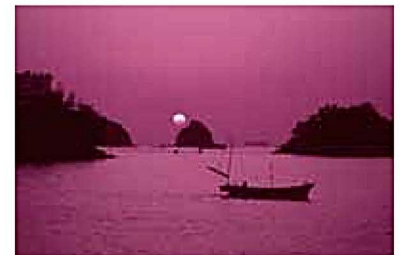
矢掛宿散策・宿舎発= =井原市総合福祉センター(コミマサポーター活動視察)  
(~10:00) (10:30~12:00)

昼食休憩・赤羽根カフェ= =田中美術館= =福山駅着・解散  
(12:00~13:30) (14:00~15:00) (16:00)

コミマ(コミュニケーションマージャン)サポーターの活動を通して、地域の絆の再生や支え合い活動の在り方を考えます。特に、地域での男性の役割・やりがいについても考察します。

■申込みNo.9 企画：笠岡市社会福祉協議会

未来に受け継ぐ「白石島」の魅力  
～海と高齢化がすすむ地域の再生～



【定員】 25名<<最少催行人数 20名>>  
【参加負担金】 14,610円(宿泊費、交流会費、昼食代、地引網等)

【行程】(岡山県笠岡市白石島内)

11/18(土)

福山市発(基調講演終了後)= =笠岡諸島交流センター(アマモの再生活動の説明)= =  
(15:10) (16:00~)

住吉港= =白石島到着= =宿泊先「お多福」着・交流会(白石踊り等)  
(17:00) (18:00~)

11/19(日)

宿舎(朝食・島の支え合い活動等の説明)= =現地視察(島の現状と活動)  
(9:00~) (10:00~)

= =地引網(実施は、天候等に左右されます)= =昼食・フィードバック(振り返り)  
(11:30~) (12:00~)

= =白石島出発= =住吉港= =福山駅・解散  
(13:00) (14:00) (15:00)

コープや漁業関係者との連携による瀬戸内海洋資源(アマモ)の保護活動と高齢化が進んだ島内での支え合い活動の在り方を、現状を踏まえたなかで意見交換します。お楽しみの企画として、地引網を予定しており、魚介類をお土産として用意します。\*着替えが必要です。

■申込みNo.10 企画：神石高原町社会福祉協議会

この地域で輝いていく  
～地域の力と命の尊さ～

【定員】 20名<<最少催行人数 10名>>  
【参加負担金】 11,470円(宿泊費、交流会費、昼食代)



【行程】(広島県神石郡神石高原町内)

11/18(土)

福山市発(全体会終了後) = = 宿泊先「光信寺の湯 ゆっくら」着・交流会  
(17:15) (18:15) (19:00~)

11/19(日)

宿泊先発 = = 新坂ふれあい会館(地域の現状、支援活動、施設見学) = =  
(8:30) (9:30~11:00)

神石高原ティアガルテン(昼食・休憩) = = ピースわんこジャパン(見学) = =  
(11:35~) (13:00~13:45)

福山駅着・解散  
(15:05)

人口減少や少子高齢化が急速に進展し、過疎化が激しい地域の現状を把握し、移住・定住などの「まちおこし」や「地域再生」の取り組み、日常生活で生じる課題解決の取り組みの在り方を考えます。

■申込みNo.11 企画：府中市社会福祉協議会

歴史を生かしたまちづくり  
～おいでんせ 石州街道 出口・上下地区～

【定員】 30名<<最少催行人数 15名>>  
【参加負担金】 11,850円(宿泊費、交流会費、昼食代)



【行程】(広島県府中市内)

11/18(土)

福山市発(基調講演終了後) = = 府中駅着 = = 宿泊先「府中第一ホテル」着 = =  
(15:15) (JR福塩線) (16:01) (16:30)

交流会(恋しき) = = 宿泊先着  
(17:00~) (19:30)

11/19(日)

宿泊先発 = = 石州街道・出口地区(現地見学) = = 府中文化センター(昼食)  
(9:30) (9:45) (11:00) (11:30~12:30)

府中文化センター(研究・討議) = = 福山駅・解散  
(12:30~14:00) (15:00)

深まる人口減少や少子高齢化の中で、石見銀山と瀬戸内海を結ぶ石州街道沿いの宿場町として栄えた伝統と歴史のある町=府中市。そこでの、伝統と歴史を活かしたまちづくりのなかで、ボランティア活動・市民活動が果たす役割について考えます。また、お楽しみとして、B級グルメとして人気の高い「府中焼き」を昼食としてご用意しております。

■申込みNo.12 企画：三原市社会福祉協議会

智将・小早川隆景の築いた「三原」を知る!

～三原城築城 450周年記念企画～

【定員】 20名<最少催行人数 4名>

【参加負担金】 1,800円(昼食代)

【行程】(広島県三原市内)

※11/18(土)の予定はありません。初日は、全体会(基調講演・シンポジウム・交流会等)にご参加ください。



11/19(日)

福山駅北口(集合・出発) = = 三原市市民福祉会館(浮城パペットサークル誕生秘話、  
(8:00) (バス内:三原紹介) (9:00~10:00)

人形時代劇『浮城ものがたり』 = =

市内めぐり(ボランティアガイド)『アゼリアガイド』による城跡を中心とした案内) = =  
(10:00~12:10) ※観光ボランティアガイドが丁寧に説明します。

昼食(『かわ蝶』でタコづくし) = =  
(12:10~13:20)

みはら歴史館(みはらの歴史・文化の紹介) = = 自由解散  
(13:30~)

知将・小早川隆景が瀬戸内の水軍を統率するために海城(三原城)を築いて450年を迎えました。築城450年に向けて行われた「市民活動チャレンジ事業」に取り組んだ想いと、完成した人形劇をご覧ください。また、継がれる歴史をガイドの案内と歴史館で感じてください。昼食は、三原のタコづくしをお楽しみいただきます。

■申込みNo.13 企画：尾道市社会福祉協議会

歴史のある街と住民の暮らしを考える

～歴史ある地域に息づく人々の暮らしとボランティアの役割～

【定員】 40名<最少催行人数 5名>

【参加負担金】 16,660円

(宿泊費、交流会費、昼食代、ロープウェイ等)

【行程】(広島県尾道市内)



11/18(土)

福山市発(シンポジウム終了後) = =  
(16:30頃)

尾道ロイヤルホテル着 = = ホテルアルファワン尾道 = = 交流会(尾道ロイヤルホテル)  
(17:20頃) ※28名 (17:30頃) ※12名・交流会への移動はタクシー

11/19(日)

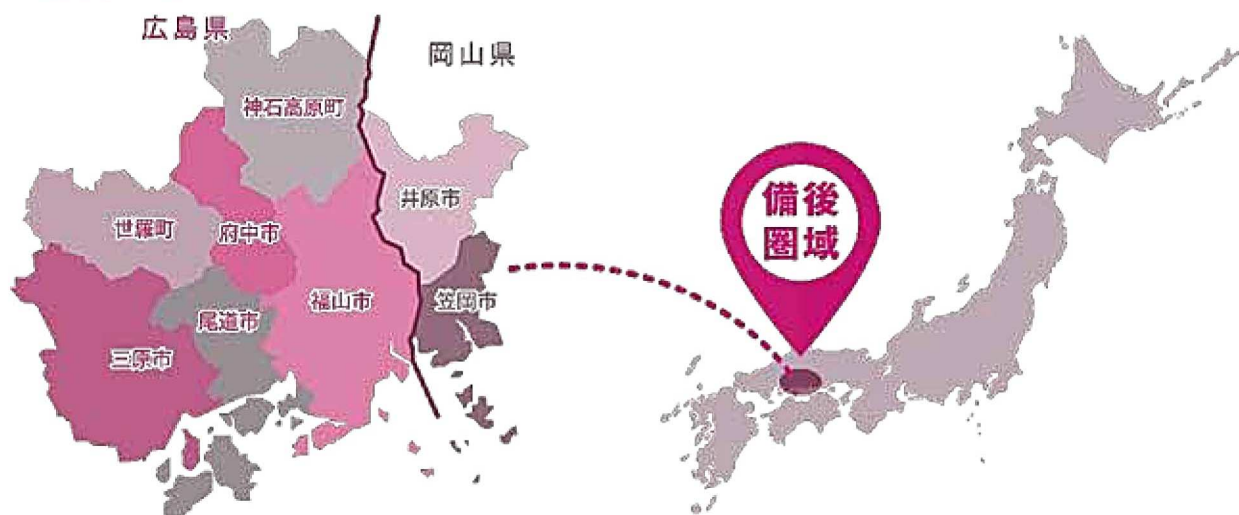
尾道駅(集合・出発) = = 散策(古寺巡り・千光寺) = = 昼食(尾道ええもんや) = =  
(9:10) (11:50~12:50)

尾道市社会福祉協議会(振り返り) = = 福山駅・解散  
(13:10~14:00) (15:00)

観光地として全国的に有名な伝統と歴史のある街=尾道市、そのなかで、尾道の象徴であり、かつ、交通困難地区でもある千光寺山地域の住民の生活課題の解決や地域の活性化において、ボランティアが担うべき支援について考えます。また、古寺巡りコースを散策して尾道の持つ多彩な観光資源を堪能していただきます。



## ■備後圏域について



## 都市と自然が共生するまち備後圏域

穏やかな瀬戸内海を望む南部(福山市・三原市・尾道市・笠岡市)と背後に雄大な中国山地がそびえる中・北部(府中市・世羅町・神石高原町・井原市)の6市2町からなる備後圏域は、自然に囲まれた立地ながらも、新幹線や高速道路など交通網が整備され、便利で暮らしやすい圏域です。

## ■ボランティア全国フォーラム2017「備後圏域実行委員会構成団体

No.	名 前	団体名(所属)	備 考
1	橋本 哲之	福山市社会福祉協議会	委員長
2	加納 彰	尾道市社会福祉協議会	副委員長
3	二階堂 昇司	笠岡市社会福祉協議会	副委員長
4	真嶋 智	三原市社会福祉協議会	委員
5	中村 一夫	府中市社会福祉協議会	委員
6	宮野 元壮	神石高原町社会福祉協議会	委員
7	玉谷 隆	世羅町社会福祉協議会	委員
8	久津間 憲通	井原市社会福祉協議会	委員
9	山本 一隆	広島県社会福祉協議会	委員
10	山岡 治喜	岡山県社会福祉協議会	委員
11	三好 久美子	ひろしまNPOセンター	委員
12	西村 こころ	岡山NPOセンター (岡山県ボランティア・NPO活動支援センター)	委員
13	西本 登勢	日本赤十字社広島県支部、岡山県支部 (広島県支部組織振興課)	委員
14	高田 公喜	広島県生活協同組合連合会	委員
15	笠木 弘二	福山市まちづくりサポートセンター	委員
16	高橋 良太	全国社会福祉協議会	オブザーバー
17	園崎 秀治	//	オブザーバー
18	大場 尚子	//	オブザーバー
19	浅野 芳明	おもちゃの図書館全国連絡会	オブザーバー
20	宮地 毅	日本生活協同組合連合会 組織推進本部	オブザーバー
21	大同 久人	日本生活協同組合連合会 中四国地連事務局	オブザーバー

## ■アトラクションについて

### <開会行事>

#### 1 三原やっさ踊り .....

今から約450年前に小早川隆景が瀬戸内の水軍を統率するために海城を築きました。

やっさ踊りは、その築城を祝って老若男女を問わず三味線・鉦・太鼓・笛などに合わせ、思い思いの所作で踊り出たのがはじまりと言われており、中国地方を代表する踊りの一つとなっています。

特徴としては、足の踊りといわれ、動きのある踊りではありますが、きまった踊りの型はなく、はやしのリズムにあわせ、各人各様におもしろく、気安く踊れるところにあり、自由奔放に踊る様子は、見ている者もおもしろさに我を忘れて踊りたくなります。



#### 2 尾道ねたきりになら連=ノーマライゼーションを基底とした車イス踊り .....

1993年8月全国初の「ねたきりになら連」が徳島の阿波踊りで誕生しました。

高齢者や障がい者が踊る楽しみを通してリハビリ・社会参加を促そうとアピールし、その後、愛媛の「松山おどり」や青森の「ねぶたまつり」などで次々と「ねたきりになら連」が誕生しました。

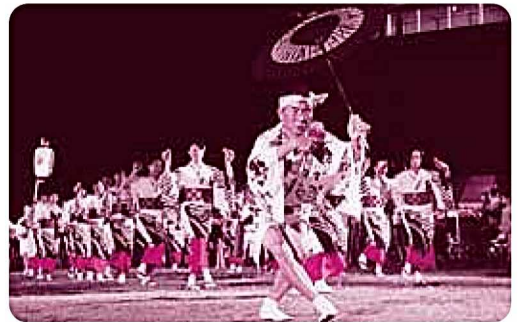
尾道においては、「松山おどり」に参加した福祉施設職員からの声かけにより、社会福祉協議会や医師会、尾道青年会議所、ボランティア連絡協議会などの職員が中心となって、尾道みなとまつりに参加すべく「尾道ねたきりになら連」を誕生させました。高齢者や障がい者が踊りへ参加し、理由なしに楽しめる、一体感を味わえる、地域の一員であることを実感できるなどと好評となっています。

### <交流会>

#### 3 二上りおどり .....

広島県無形民俗文化財に指定されている伝統芸能「二上りおどり」は、福山城下の夏の風物詩として今日に伝わっている盆おどりで、江戸時代末期に江戸詰の福山藩士によって伝えられたものと言われています。その名は三味線の曲節から出ており、地方(ぢかた)の三味線の二上り、胡弓の三下り、尺八の合奏にのせて、男女とも浴衣の裾をからげ、白足袋にぞうりをはき、男子は鉢巻、女子は手拭で頭部を包んで踊ります。

手に持った割り竹を鳴らしながら踊るこのおどりは、邦楽の正しい格調をふんだ洗練されたもので、みずから踊って楽しむおどりと言われています。



#### 4 せらまち音頭と踊り



この音頭と踊りは、2004年10月に旧3町「甲山町、世羅町、世羅西町」が合併し、新生「世羅町」が誕生した際につくられたものです。

地域創生のスローガンとして、「いつまでも住み続けたい日本一のふるさと世羅町」を高らかに掲げ、町歌と踊りを町内に広く普及させ、次世代へ受け継がれるよう取り組んでいます。

また、楽しく歌い踊ることを通じて、町民の健康増進や相互の絆を深め、地域づくりと活性化を図り、世羅町の宣伝紹介にも資するように努めており、町内での活動に加え、ひろしまフラワーフェスティバルなどにも参加しています。

#### 5 子どもによる和太鼓=十五鼓乃会

十五鼓乃会は、2005年に結成され、今では保育園の子どもから大人まで総勢30名で活動しています。

太鼓ユニット“我龍”の指導を受け、和太鼓の技術向上と共に、和と洋を合わせたリズムを感じ、挨拶や物を大切にすること、感謝の気持ちを持ち地域とのふれあいを大切に練習を続けています。

また、自分たちで牛の皮をはり、台や衣装を手作りしつつ、地元近隣の祭りや保育園祭、敬老会、老人ホームなどの行事に参加しています。

一心鼓動で魅せるステージを披露し、和太鼓の音の素晴らしさが皆様の心に響きわたりますよう一生懸命に演奏します。



#### <閉会行事>

#### 6 備中神楽



岡山県西部一帯に伝わる備中神楽は、毎年10月～12月にかけて行われている氏神の例大祭で奉納されます。天照大神の岩戸開き、大国主命の国護り、須佐之男の命の大蛇退治などが演目の代表的なものとなります。また、元来は、荒神の鎮魂を目的とすることから「荒神神楽」とも呼ばれます。

井原市の旧美星町では、備中地方の中でもとりわけ神事色の強い「荒神神楽」が多く舞われ、その起源は遠く鎌倉・室町時代まで遡ります。芸術性も高く、娯乐的にも楽しめる備中神楽をどうぞご堪能ください。

内容に関する問合せ先

#### 福山市社会福祉協議会

〒720-8512 広島県福山市三吉町南二丁目11番22号 福山すこやかセンター内

電話：(084) 928-1330 FAX(084) 928-1331

Eメール : f-shakyo@blue.ocn.ne.jp

ホームページ : <http://www.f-shakyo.net/2017forum.html> (特設ホームページ)

Facebook : <https://www.facebook.com/ボランティア全国フォーラム2017>

# 大会・交流会等への参加申込について

## 1 参加申込について

別紙「参加申込書」へ必要事項を記載のうえ、インターネットもしくは郵送・FAXでお申込みください。  
なお、大会への参加申込みの受付・管理、宿泊先確保等の業務につきましては、次の業者へ業務委託しております。

【委託先】〒730-0013 広島市中区八丁堀5番7号 広島KSビル9階  
名鉄観光サービス(株)広島支店  
☎ 082-227-2281 FAX 082-227-8863  
(担当者)酒業、北川

【参加申込先】・インターネットの場合(名鉄観光サービス(株)広島支店予約受付サイトへ)  
サイト名:名鉄観光 大会登録システムサイト  
<https://www.mwt-mice.com/events/vfhiroshima2017><8月から入力が可能です。>  
・郵送の場合は、上記業者の所在地までお送りください。  
封筒へは、ボランティア全国フォーラム2017参加申込書在中と朱書きしてください。  
・FAXの場合(名鉄観光サービス(株)広島支店)  
082-227-8863

※インターネットでの申込みの場合、備後圏域6市2町の社会福祉協議会ホームページから名鉄観光サービス(株)広島支店の予約受付サイトに展開し申込みことができます。

※申込みを行った際には、プリントアウトするなどして控えを手元に必ず残してください。

【参加申込期間】2017年(平成29年)8月1日(火)~10月31日(火)

## 2 参加申込にあたっての注意事項

[参加申込書のへの記載等]

### ■基本的事項

申込書の申込者と参加者名の両方の欄へ記載をお願いします。グループでお申込みの場合は、申込者の欄に申込代表者の名前、所属及び連絡先を、また、参加者名欄は、代表者を筆頭に参加者お一人ずつの状況を記載してください。

以降、参加券等の送付、費用の請求を一括して行うこととなりますので、予めご了承ください。

### ■所属区分(記載は必須)の欄

①~⑩から選択して記載してください。

- |            |                |                      |      |
|------------|----------------|----------------------|------|
| ①学生        | ②ボランティア・市民活動団体 | ③社協・ボランティアセンター・推進団体等 |      |
| ④学校・教育関係   | ⑤福祉施設・団体       | ⑥行政関係                |      |
| ⑦メディア・マスコミ | ⑧企業・労組・経済団体    | ⑨保健医療施設・団体           | ⑩その他 |

### ■参加費の欄

大会の参加には、参加費5,000円(大学生以下は、500円)が必要となります。「一般」もしくは「大学生以下」のどちらかに「○」の記載をお願いします。

フィールドワークへ参加される場合も参加費5,000円を申し受けます。また、初日のみ、二日目のみの参加の場合も同様です。

### ■11月18日(土)の全体会の欄

初日の全体会(基調講演、シンポジウム、分科会に向けて)に参加される場合は「○」と記載してください。フィールドワークへ参加される場合も記載をお願いします。

二日目からの参加の場合のみ記載する必要はありません。

### ■11月18日(土)の交流会の欄

初日の交流会からの参加も可とします。初日は全体会、二日目は分科会へ参加される方及び申込みNo.12のフィールドワークへ参加される方の内で、交流会への参加を希望される場合は記載をお願いします。交流会費用として、参加費とは別に5,000円の負担をお願いします。

申込みNo.8~11、13のフィールドワークへ参加される方は、それぞれのコースの宿泊先での交流会となり、費用は参加負担金に含まれています。

### ■11月19日(日)の分科会及びフィールドワークの欄

参加を希望される分科会及びフィールドワークの申込みNo.を記載してください。(先着順で分科会及びフィールドワークを決定します。)また、記載は、第3希望までをお願いします。

フィールドワークについては、別途参加負担金(宿泊代、交流会費、昼食代等)が必要となります。コースによってそれぞれ異なりますので、開催要綱をご参照ください。

なお、定員等の関係でご希望に沿えない場合がありますので、予めご了承ください。

### ■11月19日(日)の弁当の欄

分科会へ参加される方で、11月19日(日)の昼食用のお弁当を注文によりご用意します。お茶付で1,000円(税込)となります。なお、当日の販売はありません。

※会場周辺には飲食店もありますが混雑することも予想されるため、ゆったりとしたスケジュールを希望される場合は、お弁当の注文をおすすめします。

※フィールドワーク参加者の昼食につきましては、それぞれのコースで用意しており、費用も参加負担金に含まれています。

#### ■宿泊申込の欄

「ご宿泊のご案内」参照して、宿泊日ごとに「申込記号」を第1希望から第3希望まで記載してください。

その際、喫煙の有無、ツインを希望される場合は同室の希望者名を記載してください。

なお、部屋数に限りがあり、ご希望に添えない場合があります。

※フィールドワークに参加される方は、申込みと同時に宿泊も申込みとなりますので、ご注意ください。なお、フィールドワークが定員に達し、ご希望に沿えない場合もございますので、11月18日(土)の宿泊をご希望の場合は、第2希望・第3希望の欄にご希望のホテルの申込記号をご記入ください。

#### ■合計金額の欄

全体会、交流会、フィールドワーク等を通じて、第1希望で必要とする金額を計算して記載してください。

〔例1〕(全体会、交流会、昼食の場合(宿泊なし))

5,000円(参加費) + 5,000円(交流会費) + 1,000円(昼食)

合計 11,000円となります。

〔例2〕(全体会、交流会、宿泊〔ホテルオリエンタル一泊〕、フィールドワーク申込みNo.12の場合)

5,000円(参加費) + 5,000円(交流会費) + 10,000円(宿泊代) + 1,800円(フィールドワーク参加負担金)合計 21,800円となります。

〔例3〕(全体会、フィールドワーク申込みNo.8の場合)

5,000円(参加費) + 17,670円(フィールドワーク参加負担金)

合計 22,670円となります。

#### ■変更届の欄

一度申込みを行ったにもかかわらず、申込み内容に変更が生じた場合は、変更箇所を含めて再度申込書を作成し送付してください。その際に、変更届欄に「〇〇月〇〇日参加申込分の変更」と記載して送付してください。

#### ■介助・誘導等の欄

大会の参加にあたり、介助・誘導等が必要とされる場合は、その区分と必要とされる介助・誘導等の具体的内容を記載してください。

また、複数申込みをされた場合は、該当者のお名前を記載してください。

#### ■返金の場合の口座情報

納めた金額に還付金が生じた場合は、この口座へ振り込むこととなります。

ただし、参加費についてはお返しすることができませんので、予めご了承をお願いします。

### 3 参加券・参加費用請求書の送付について

■お申込みいただいた方には、参加券と参加費用請求書等を10月下旬より順次郵送いたします。グループでお申込みの場合は申込代表者に一括して送付します。

11月10日までに参加券等届かない場合は、名鉄観光サービス(株)広島支店までご連絡ください。

### 4 参加費用のお支払いについて

■参加費用として、参加費、交流会費、弁当代、宿泊費、フィールドワーク参加負担金の合計額を請求します。参加費用請求書を送付しますので、金融機関より記載の期日までにお支払いください。なお、振込手数料は申込者負担でお願いします。

### 5 参加登録の「変更」・「追加」・「取り消し」方法について

■参加登録の「変更」・「追加」・「取り消し」が生じた場合は、参加申込書に変更内容をご記入の上、名鉄観光サービス(株)広島支店までお申し出ください。また、グループでお申込みの場合は、申込代表者が一括してお申し出ください。

■参加費用の返金については、大会終了後ご指定の口座へお振込みいたします。返金に伴う振り込み手数料については、変更をお申し出になった方のご負担とさせていただきます。

### 6 参加申込締め切り日 **2017年(平成29年)10月31日(火)必着**

※インターネットからの申込みにつきましては、10月31日(火)18時をもって受付を停止いたします。

### 7 取消料について

■お申込み後、お客様の都合により変更・取消が発生した場合は、次の取消料を徴収させていただきます。

■変更・取消が発生した場合は、お申込書の控えに直接変更・取消内容をご記入いただき、必ずFAX(082-227-8863)にて名鉄観光サービス(株)広島支店までご連絡願います。(トラブル防止のため、電話で変更・お取消しは出来ませんので、ご了承のほどお願いいたします。)

- ご入金後の変更・取消により返金が生じた場合は、大会終了後ご指定口座へお振込みいたします。
- 宿泊に関する変更・取消は直接ホテルへ連絡されても対応できませんので、必ず名鉄観光サービス(株)広島支店へFAXもしくはインターネットにて変更・取消をお願いいたします。
- 変更・取消の受付は名鉄観光サービス(株)広島支店の営業日、営業時間内にさせていただきますので、ご了承ください。  
営業時間：月～金 9:00～18:00 休業日：土・日・祝日

#### 取消料基準

項目 / 取消日	14日～8日前	7日～2日前	前日	当日	開始後・無連絡
参加費	ご入金後の参加費は返金いたしません				
交流会費	無料	無料	50%	100%	100%
宿泊費	10%	20%	40%	50%	100%
弁当代	無料	無料	50%	100%	100%

※宿泊の取消日は宿泊日の前日から起算いたします。また取消料は1泊ごとに適用させていただきます。

### 8 個人情報の取扱いについて

- お申込みの際にご提出いただいた個人情報については、お客様との連絡のために利用させていただくほか、宿泊機関等の提供するサービスの手配および受領のための手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。また、大会主催事務局に提供いたします。上記以外の目的で本人の了承なく個人情報を第三者に開示することはありません。その他詳細は名鉄観光サービス(株)広島支店ホームページでご確認いただけます。

### 9 お申込み・問合せ先

#### 【旅行企画・実施】

#### 名鉄観光サービス株式会社 広島支店

〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀5番7号

電話：(082) 227-2281 FAX(082) 227-8863

ボランティア全国フォーラム2017担当者宛

営業時間：平日 9:00～18:00(土・日・祝日は休業です。)

## ご宿泊のご案内

2日目(11/19)の分科会及びフィールドワーク申込みNo.12に参加される方は、①～⑪のホテルからご希望のホテルをお申込みください。

2日目(11/19)のフィールドワーク申込みNo.8～11、13に参加される方は、⑫～⑯の指定のホテルとなります。

※宿泊料金は全て、お一人様1泊朝食付(税込・サービス料込)の料金となります。

	ホテル名	宿泊日	部屋タイプ	申込記号	料金(お1人様)	本会場から
①	福山ニューキャッスルホテル	17日～19日	シングル	1-S	13,000円	本会場
			ツイン	1-T	11,000円	
②	リッチモンドホテル福山	17日・19日	シングル	2-S1	11,000円	徒歩3分
			ツイン	2-T1	9,000円	
		18日	シングル	2-S2	13,000円	
			ツイン	2-T2	12,000円	
③	福山オリエンタルホテル	17日・19日	シングル	3-S1	9,000円	徒歩4分
		18日	シングル	3-S2	10,000円	
④	福山プラザホテル	17日～19日	シングル	4-S	8,000円	徒歩15分
⑤	福山ロイヤルホテル	17日～19日	シングル	5-S	8,000円	バス15分 最寄バス停 手城入口
			ツイン	5-T	6,500円	
⑥	福山と～ぶホテル	17日～19日	シングル	6-S	8,000円	徒歩2分 11/19(日)のみ素泊り
⑦	福山ローズガーデンホテル	17日～19日	シングル	7-S	7,000円	徒歩10分
			ツイン	7-T	6,000円	
⑧	福山ターミナルホテル	17日～19日	シングル	8-S	7,000円	徒歩10分
⑨	ベネフィットホテル福山	17日～19日	シングル	9-S	6,000円	徒歩12分
			ツイン	9-T	5,000円	
⑩	福山ステーションイン	17日～19日	シングル	10-S	6,000円	徒歩8分
			ツイン	10-T	5,000円	
⑪	福山センチュリーホテル	17日～19日	シングル	11-S	6,000円	電車15分 最寄駅 東福山駅

	ホテル名	宿泊日	部屋タイプ	申込記号	料金(お1人様)	備考
⑫	矢掛屋	18日	ツイン	12	17,670円	フィールドワークNo.8
⑬	お多福	18日	大部屋	13	14,610円	フィールドワークNo.9
⑭	光信寺の湯ゆっくら	18日	シングル	14	11,470円	フィールドワークNo.10
⑮	府中第一ホテル	18日	シングル	15	11,850円	フィールドワークNo.11
⑯	尾道ロイヤルホテル 又は ホテルアルファワン	18日	シングル	16	16,660円	フィールドワークNo.13

- 禁煙・喫煙のご希望はお伺いしますが、室数に限りがあるため、ご希望に沿えない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ツインルームご希望の場合は、同室希望者名を参加申込書にご記入ください。料金は、2名で利用される場合の1名様分の料金です。
- 上記の宿泊料金・部屋タイプ申込記号を第3希望まで選択して、参加申込書にご記入ください。
- お申込みは先着順となります。なお、申込記号の記入がない場合や希望されているホテルが満室の場合等は調整をさせていただきますので、予めご了承ください。(例/第1希望が満室の場合は第2希望へ、第2希望が満室の場合は第3希望へ)
- バリアフリー対応については、名鉄観光サービス(株)広島支店ボランティア全国フォーラム2017担当までお問い合わせください。

## □会場案内

<福山ニューキャッスルホテル> (〒720-0066 広島県福山市三之丸町8-16)

ホームページ: <http://www.new-castle.net/access/>

<エフピコRiM・福山市ものづくり交流館、福山市男女共同参画センター>

(〒720-0067 広島県福山市西町1-1-1 エフピコRiM)

ホームページ: <http://rim-f.jp/access/>

### [福山ニューキャッスルホテル]

- 福山駅から 徒歩 約1分
- 広島空港から リムジンバス 約65分 徒歩 約1分

### [エフピコRiM・福山市ものづくり交流館、福山市男女共同参画センター]

- 福山駅から 徒歩 約5分
- 広島空港から リムジンバス 約65分 徒歩 約5分

## □会場・宿泊施設周辺図

